

< 平成23年度以前入学者の学習・教育目標(社会環境コース・環境情報コース) >

I. 【技術者の人間形成に資する幅広い教養, 倫理観, コミュニケーション能力】

- (A) 人文・社会科学の知的基盤を築き, 社会人としての豊かな素養および技術者としての倫理観を身に付ける.
- (B) 自ら考えて問題に取り組む自己学習の習慣・能力を身に付け, 互いの創意工夫により問題解決を図り, 成果としてまとめる協調性やリーダーシップを養う.
- (C) 論理的な記述, 口頭発表や討議などのプレゼンテーション能力および国際交流を図れるコミュニケーションの基礎能力を身に付ける.

II. 【専門技術者として要求される基礎能力】

- (D) 数学, 統計学および物理, 化学, 生物, 地学などの自然科学および情報技術に関する基礎能力を身に付ける.
- (E) 構造力学, 土質工学, 水理学, 測量学, あるいは計画数理学などに関する専門分野の基礎を修得し, 演習, 実習および実験などを通じてそれらの理解度や工学的考察能力を高める.
- (F) 専門分野における調査, 計画, 設計, 施工に関する基本的な技術を修得し, 実務に対する適応力および探究心を養う.

III. 【自然環境ならびに地域特性を考慮した社会の要求に応える能力】

- (G) プロジェクトを遂行する上で必要となる基礎と専門の知識を有機的に展開して, 創造的な計画能力と分析能力を身に付ける.
- (H) 自然と人間生活の調和・共存をめざし, 循環型社会システムを築くための環境技術を理解する.
- (I) 北海道の地域特性を考慮した社会基盤の建設技術や維持管理技術など, あるいはそれらを実現するための基礎技術として合意形成技術あるいはリスクマネジメント技術などを体系的に理解する.